

延長保育

保育所について、公営は6割弱、私営は5割の園が、通常保育時間前（朝）、後（夕）の両方とも延長保育を実施している。延長保育を実施している園の開園時間は、とくに私営が長く、1日12時間以上開園している園が7割に上る。

本節では、保育所について、通常保育前後の延長保育の実態についてみていく。

まず、通常保育前（朝）の延長保育の実施状況について、園の区分別にみたものが図3-4-1である。公営保育所の朝の延長保育を実施している比率は59.4%であった。私営の実施比率は52.0%であった。

次に、通常保育後（夕）の延長保育の実施状況を見ると（図3-4-2）、公営は74.7%、私営は91.3%が実施している。夕方の延長保育は、公私ともに多くの園で実施

している。経年でみると、公営が、2008年調査の66.5%から74.7%へ8.2ポイント増加している。私営は2008年時点ですでに89.0%が実施しており、経年で大きな増加はない。

では、朝・夕ともに延長保育を実施している園はどのくらいあるのだろうか。図3-4-3をみると、公営保育所は57.4%の園が朝・夕ともに延長保育を行っている。私営保育所は公営よりは少なく、50.2%であった。

図3-4-1 通常保育前の延長保育（保育所区分別）



図3-4-2 通常保育後の延長保育（保育所区分別・経年比較）

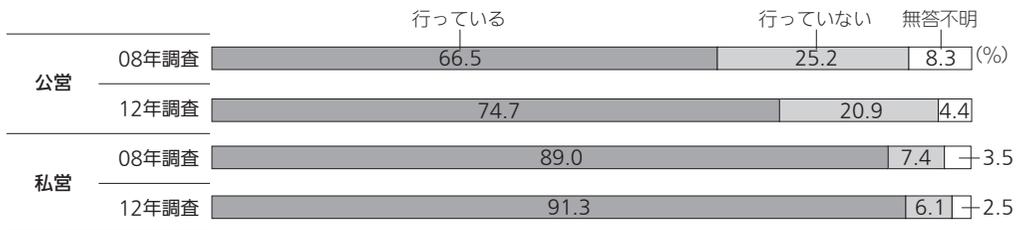
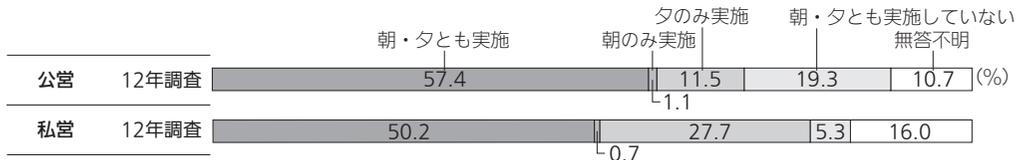


図3-4-3 通常保育前（朝）・通常保育後（夕）の延長保育実施状況（保育所区分別）



注) 朝・夕いずれかについて無答不明の場合は「無答不明」として集計。

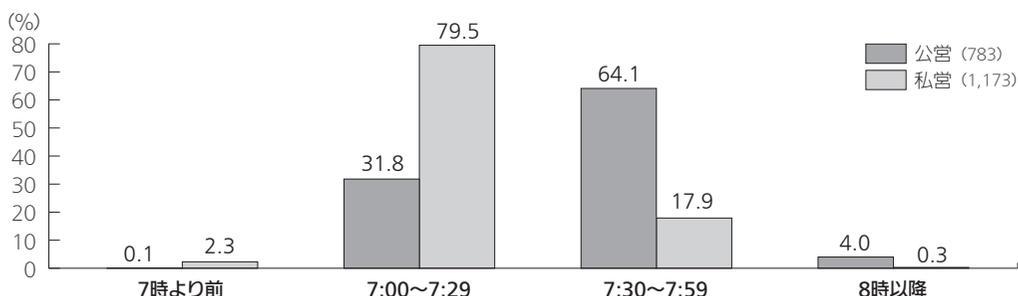
第3章 保護者との関わり・子育て支援

次に、延長保育を実施している園について、朝の開始時間をみてみると（図3-4-4）、ほぼ全園が7時台に開園している。少し詳しくみてみると、公営は6割以上が7:30～7:59に開園、私営は約8割が7:00～7:29に開園している。私営のほうが、早い時間に開園する園が多い。

通常保育後、18時以降の延長保育の終了時間をみると（図3-4-5）、公営・私営ともに、19時台に終了する園が多く、公営は53.2%、私営は70.4%である。19時台といっても、19:00が多く、公営の44.4%、私営の57.6%が19:00で終了する（図表省略）。

朝・夕ともに延長保育を行っている園は、1日あたり、どのくらい開園しているのだろうか。図3-4-6は、延長保育を朝・夕ともに実施している園で、開始・終了時間とも回答した園について、何時間開園しているのかを区分別にみた結果である。公営は11時間台がもっとも多く、回答園の44.7%である。私営は12時間台が58.7%でもっとも多い。もっとも多いパターンは、朝7時に朝の延長保育を開始し、19時に夕方の延長保育を終了するパターンであるので、実際、12時間開園しているという園が多い。

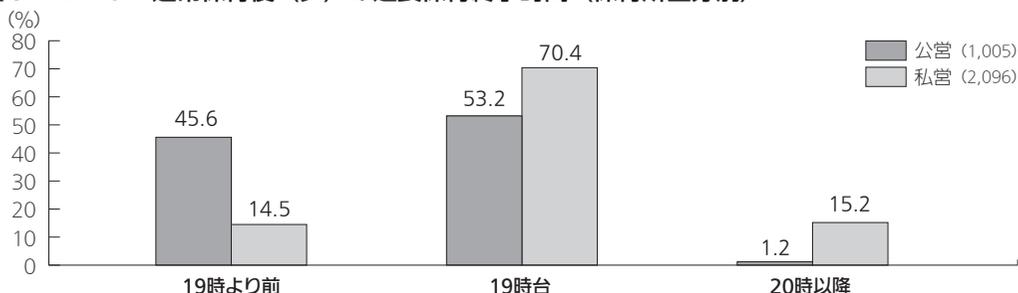
図3-4-4 通常保育前（朝）の延長保育開始時間（保育所区分別）



注1) 延長保育を実施している園で、開始時間について無答不明の園を除いて集計。

注2) ()内はサンプル数。

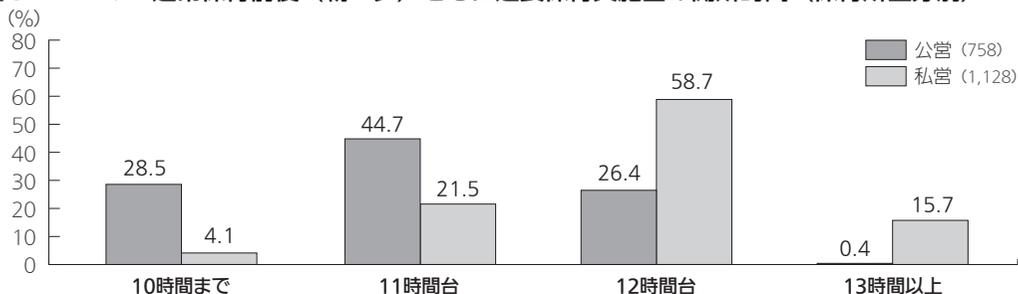
図3-4-5 通常保育後（夕）の延長保育終了時間（保育所区分別）



注1) 延長保育を実施している園で、終了時間について無答不明の園を除いて集計。

注2) ()内はサンプル数。

図3-4-6 通常保育前後（朝・夕）ともに延長保育実施園の開所時間（保育所区分別）



注1) 通常時間前後とも延長保育を実施している園で、開始・終了時間のいずれかが無答不明の園を除いて集計。

注2) ()内はサンプル数。

延長保育を実施している園は、開園時間が長いなか、職員のシフトの問題や、延長保育中の活動など、さまざまな工夫をしていると思われるが、通常保育後（夕）に延長保育を実施している園の延長保育についての課題意識をみると（図3-4-7）、公私ともに6

割が「延長保育の内容（食事、環境、職員数など）」に課題を感じていると回答している。具体的な詳細はわからないが、長時間開園し、日々人数のかわるさまざまな年齢の子どもたちを保育することについて、苦勞があることが推察される結果である。

図3-4-7 運営課題：預かり保育／延長保育の内容（食事、環境、職員数など）
（保育所区分別）

		とてもあてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無答不明
公営	(1,018)	18.1	42.6	29.5	5.7	4.1
私営	(2,140)	13.4	47.4	30.6	4.0	4.6

注1) 通常時間後の延長保育を実施している園。

注2) ()内はサンプル数。